

## 研究概要

研究タイトル：持続可能な社会のためのインクルーシブ・リーダーシップ教育の開発：現代のリーダーにおける変革的・関係的価値の探究

研究代表者：ROUX Petrus Willem

CIL 副センター長、立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター 准教授

インクルーシブ・リーダーシップは進化を続けており、複数の学術領域にまたがる複雑で高度な分野へと発展している。学術界では比較的新しい概念とされる一方で、その普及に伴い、教育的リーダーシップの適切なモデルについて一定の合意が既に形成されている分野においても、議論が活発化している。高等教育においては、リーダーシップの教育および実践に有効なモデルとして、「関係的リーダーシップモデル」と「変革型リーダーシップモデル」の二つが注目されている。

本研究は、高等教育における持続可能リーダーシップの育成に向け、適切な学習システムの開発に焦点を当てている。このような学習システムがどのように開発されるかを理解するため、サステナビリティ分野における現代のリーダーが有する変革的および関係的資質に着目し、インクルーシブ・リーダーシップがどのように実践されているのか調査することを全体の目的とする。

本研究は二段階で構成される。第一段階（2024–2025 年度）では、持続可能な社会の構築に取り組む少なくとも二つの組織を対象とした調査研究を実施する。第二段階（2026–2028 年度）では、第一段階の成果を基に、高等教育段階におけるリーダーシップ育成および教育のためのフレームワークを設計する。「関係的リーダーシップモデル」と「変革型リーダーシップモデル」という二つの代表的なリーダーシップ理論を用い、変革的かつ関係的な性質を通じて、リーダーシップがいかにインクルーシブなものとして実践されているのか、またそれが地球規模での持続可能性の継続にどのように寄与しているのかを明らかにする。

これらの研究を基に、質的研究デザインを活用し、グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて、対象組織におけるリーダーシップの変革的要素および関係的要素を分析する。こうしたリーダーシップが、持続可能な未来に向けた社会変革にどのような影響を与え、またそれを推進しているのかを明らかにすることを目的とする。

実施期間は 5 年間を想定している。第一段階（2024–2026 年度）では、文献レビュー、現地調査、インタビュー、簡易アンケートを通じたデータ収集を行う。第二段階（2026–2028 年度）では、データの統合・分析および報告書作成を行い、2027~2028 年までに CILC や AP カンファレンス等での学会発表、ならびに査読付き学術誌への掲載を目指す。

最終的な調査結果は、APU におけるインクルーシブ・リーダーシップ教育のための適切な学習デザインの開発に活用され、世界における社会変革を志向する卒業生の育成に資することが期待される。